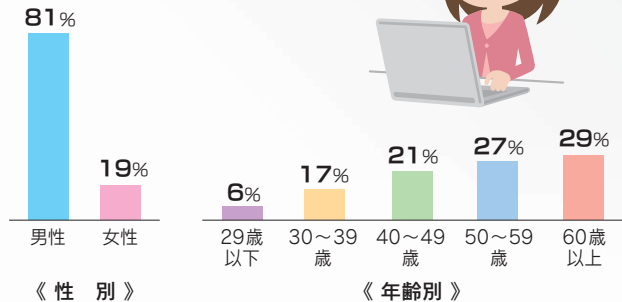


# アンケートの結果報告です

IBM 健保組合では、加入者のみなさまにご提供する各種プログラム等の保健事業について、今後の事業展開に活かしていくためのご意見・ご要望を広くお聞きするため、毎年「IBM 健保組合アンケート」調査を実施しています。今年度も昨年 11 月に、被保険者のみなさまのなかから 6,000 名の方を無作為に選んで調査を実施、ご回答いただいた方々の集計結果をご報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。

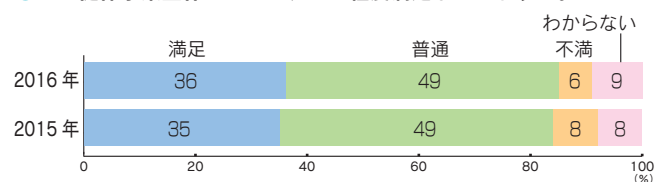
ご回答いただいた  
みなさま  
〈集計の内訳〉



## IBM 健保組合の事業全体の満足度は？

IBM 健保組合の事業全体に対する満足度は、わずかではありますが、年々上昇しています。厳しい財政状況の中、今後も疾病予防プログラムを中心に限られた予算を有効活用し、サービスの質の向上に努めていきます。

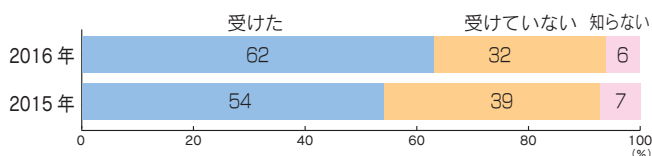
● IBM 健保事業全体について、どの程度満足していますか。



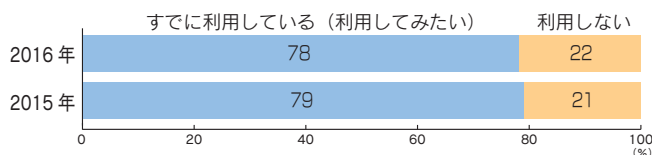
## 疾病予防プログラムについて

健診を受けられた被扶養者は 2015 年度から増加していますが、健診未受診の方もまだ 3 割強いらっしゃいます。必ず年 1 回、受診されることをお勧めします。

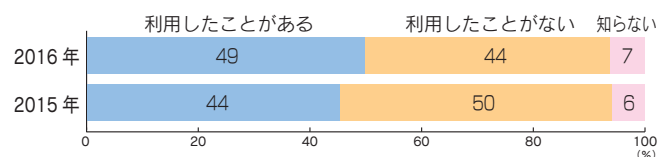
● 被扶養者は健診を受けましたか？



● インフルエンザ予防接種を利用しますか？



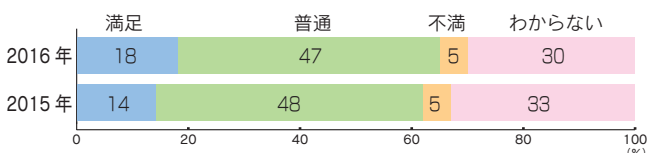
● 補助金対象となるオプション検診プログラム（乳がん・子宮がん・胃がん検診、人間ドック等）を利用したことがありますか？



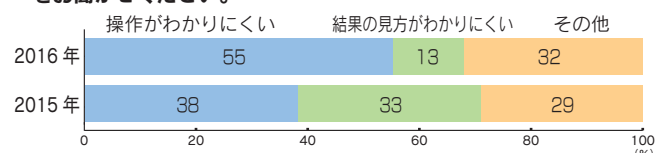
## SSP（すこやかサポート Plus）について

SSP に対する満足度は改善されているようですが、「不満」の理由では依然として「操作がわかりにくい」という声が多いようです。この春には家族健診予約システムとの統合を図るなど、今後も健康ポータルとしてお役立ていただけるよう改善していきます。

● SSP を利用されたご感想はいかがでしょう。



● SSP を利用されたご感想で「不満」と回答された方は、その理由をお聞かせください。

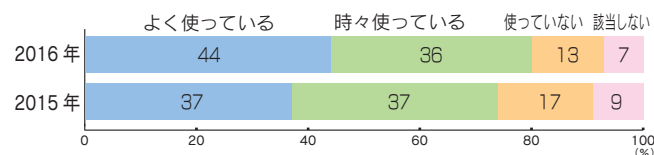




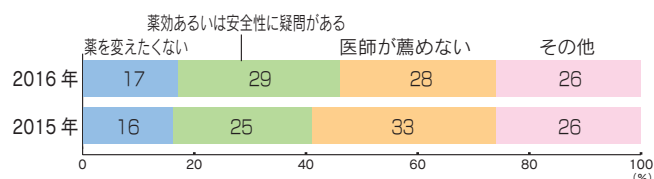
## ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

ジェネリック医薬品を利用する方は2015年度からかなり増えています。しかし、薬効や安全性の面で不安を感じていらっしゃる方もまだまだ多いようです。IBM 健保組合では、今後もジェネリック医薬品に関する情報発信を行い、利用率の向上に努めていきます。

### ●ジェネリック医薬品をご利用になったことがありますか？



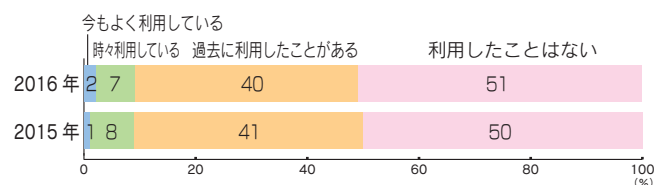
### ●ジェネリック医薬品を「使っていない」と回答された方は、その理由をお聞かせください。



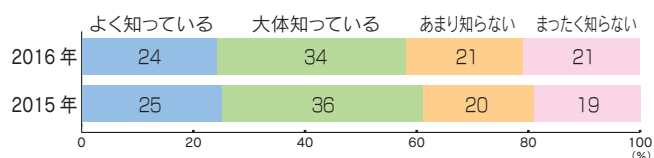
## 整骨院・接骨院（柔道整復師）について

整骨院・接骨院を利用したことのある方はほぼ半数で、毎年同様の傾向となっています。一方、健康保険が適用される傷病についてご存じの方は6割弱にとどまっているため、今後もパンフレットの配付等により、正しいかかり方について周知していきます。

### ●整骨院・接骨院（柔道整復師）を利用したことはありますか？



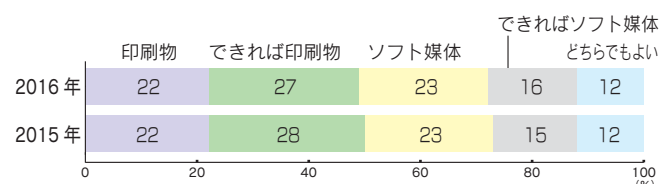
### ●整骨院・接骨院で健康保険が適用できる傷病は限られていますが、ご存じですか？



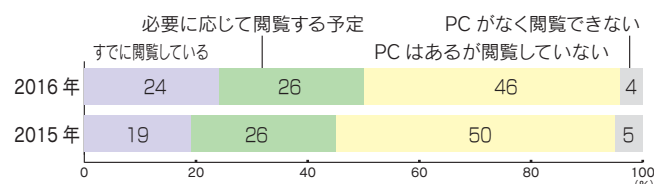
## 情報のご案内方法について

IBM 健保組合からみなさまにお知らせする手段として印刷物を希望される方は依然として多く、またご家族の場合、パソコン等があっても健保組合のホームページを閲覧している方はまだまだ少ないようです。

### ●印刷物による開示と Web 等を利用したソフト媒体による開示、どちらを希望しますか？



### ●ご家族の健保ホームページを閲覧することができるパソコン（タブレット、スマートフォンを含む）環境についてお聞かせください。

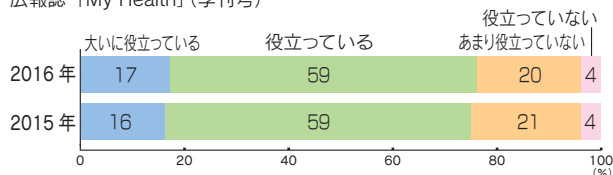


## 各種印刷物・健保ホームページについて

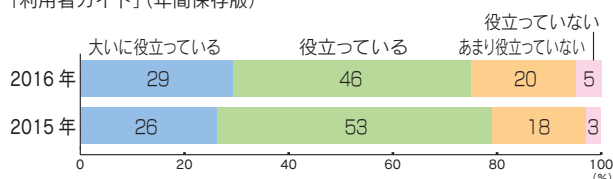
年4回発行の季刊広報誌「My Health」、毎年発行の「利用者ガイド」とも3/4の方々に役立てられており、多くのみなさまにご活用いただいているようです。これらは、IBM 健保組合からみなさまに各種情報提供を行う手段として欠かせない媒体ですが、同時にホームページやSSPについても、より使いやすいよう改善していきます。今後も、印刷物との両輪により、みなさまの健康に役立つ情報提供に努めていきたいと考えています。

### ●各種印刷物は役に立っていますか？

広報誌「My Health」（季刊号）



「利用者ガイド」（年間保存版）



事業の柱となる項目について、アンケートの集計結果をご報告させていただきました。来年度の保健事業プログラムの運営に活かしてまいります。